

平成31年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）
（口述試験その他）心理学研究室・英語文献読解等 全2枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 2, 解答用紙 3枚を配付する。

「英文読解」「英作文」とともに別紙の解答用紙を使用すること。なお、解答用紙の3枚目は、メモや下書きに使用してもよい。

§ 英文読解

問題用紙2枚目の英文を読み、「英文読解解答用紙」の問いに答えなさい。

§ 英作文

次の日本語を英語に訳し、「英作文解答用紙」に書きなさい。英訳に際し、下部の用語を参考にしても良い。

脳のシステムは非常に複雑だが、その部品は比較的単純だ。その構成単位は、ニューロンである。思考や行為、記憶や気分などの仕組みを探るためには、まずはニューロンがどのようにコミュニケーションをするかを理解する必要がある。ニューロンはひとつの細胞体と枝分かれする神経線維からできている。樹状突起は情報を受け取って細胞体へと伝える。細胞体からは長い軸索が伸び、その末端を介して、他のニューロンや筋肉に対して信号を伝える。すなわち、樹状突起は信号を受け取る側であり、軸索は信号を送る側である。樹状突起は短いが、軸索は非常に長く、1 m ほど伸びていることもある。例えば、足の筋肉に指令を伝えるニューロンの細胞体と軸索の関係は、バスケットボールに6 km 以上のロープがくっついたのに匹敵する。

神経線維 nerve fiber

細胞体 cell body

樹状突起 dendrite

軸索 axon

出典：マイヤーズ, D. (2015). 『マイヤーズ心理学』東京：西村書店. p. 37の一部を改変して使用。

*** 「英文読解」の問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできません
ので、下記の出典箇所を参照するか、文学院教務担当の窓口で閲覧してください。**

出典 : Martin, P., & Bateson, P. (1993). *Measuring behaviour: An introductory guide (2nd ed.)*.
Cambridge, UK: Cambridge University Press. pp. 62-65 より抜粋・改変して使用。

受験番号	
------	--

§ 英文読解解答用紙

問1 : 英文中の [1], [2], [3] には “accuracy,” “duration,” “frequency,” “intensity,” “latency” のいずれかの単語が入る。それぞれにふさわしい単語を _____ に書き、その日本語訳を () に書きなさい。

[1] _____ ()

[2] _____ ()

[3] _____ ()

問2 : 英文中の二重下線 <A> に書かれている点についての筆者の説明を、簡潔にまとめて書きなさい。

問3 : この英文にふさわしいと思われるタイトルを _____ に英語で書き、その日本語訳を () に書きなさい。

()

